

秩父回収資源株式会社

2022 年度環境経営レポート

(対象期間：2022 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日)

認証・登録番号 0010325

認証登録日 2014 年 12 月 1 日



作成日：2023/10/02

あいさつ

私たちの営む廃棄物処理業とは、まさに環境事業の一環となる業種であり。この度、エコアクション21の認証制度に触れ、数値を調べ、統計を出し目標を定めることでより深く理解し、環境関連事業を営む者として、環境負荷の低減に努める所存でございます。

秩父回収資源株式会社

代表取締役 小澤 通利

環境経営方針

基本理念

当社は、金属原料のトータルリサイクル及び付随する関連事業を行うにあたり、「資源小国」日本における循環型社会の形成に貢献できる会社として、地球環境を守ることが重要課題であると認識し、すべての事業活動において環境に配慮しながら資源の有効利用を図り地域社会に貢献します。

方針

1. 環境問題の法令及び条例等を遵守します。
2. 金属のリサイクル事業に関し、金属及びその他資源のリサイクル率を高め、より効率的・有効的な資源の活用に努めます。
3. 事業活動及び事業活動以外で発生する環境負荷を継続的に低減し、環境汚染の未然防止に努めます。
4. 本方針を全従業員に周知徹底させ、かつ環境に関する教育及び啓蒙活動を実施して環境経営方針に関する意識の高揚を図ります。

2012/3/22 制定

2020/12/1 改訂

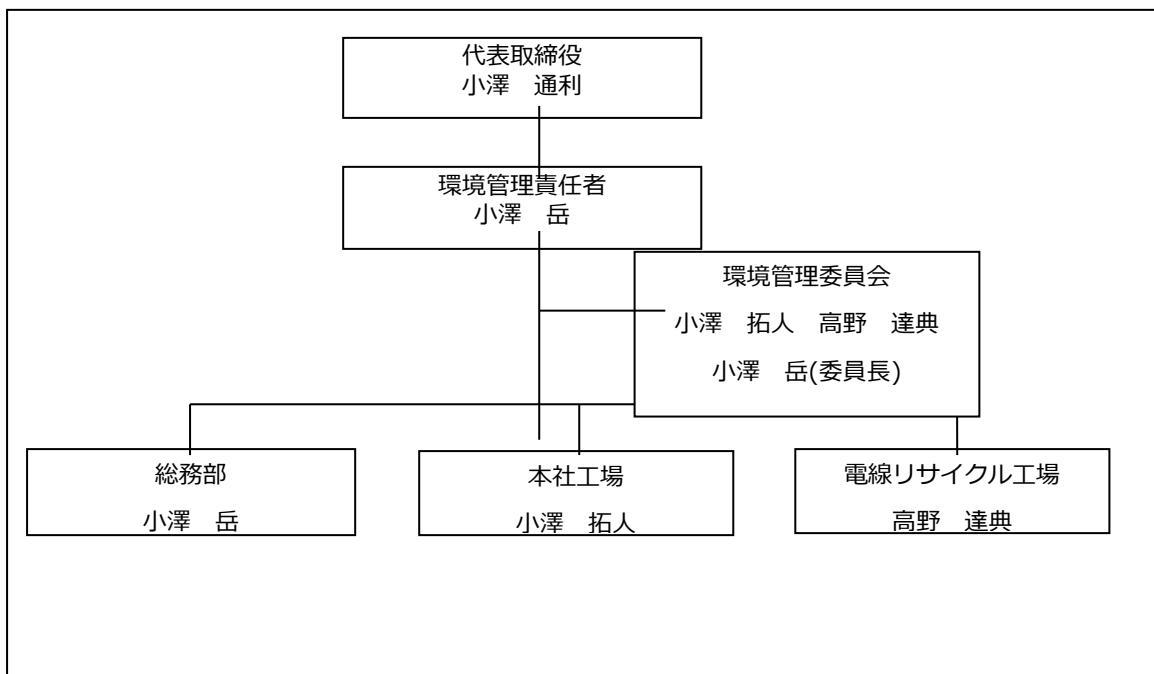
秩父回収資源株式会社

代表取締役 小澤通利

組織の概要

- 名称及び代表者名
秩父回収資源株式会社
代表取締役社長 小澤 通利
- 設立年月日
昭和27年 4月 1日
- 所在地
本社工場：埼玉県秩父郡皆野町皆野102
電線リサイクル工場：埼玉県秩父郡皆野町大淵143
駐車場：埼玉県秩父郡皆野町大字皆野字中芝57番地、63番4の一部
- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 小澤 岳
連絡先 0494-62-0870
- 事業内容
鉄・非鉄金属加工業、再生資源卸売業、産業廃棄物収集運搬・処分業
- 事業年度
9月～8月
- 事業の規模
 - ・資本金：1,000万円
 - ・売上：1337百万円
 - ・従業員：17名
 - ・延べ床面積：本社工場 1,962m²
電線リサイクル工場 1,872m²
- 組織図

2023年10月2日現在



● 許可の状況

- 産業廃棄物収集運搬業（積保除く） 2自治体
- 産業廃棄物処分業業 1自治体

産業廃棄物収集運搬業許可一覧表																						
NO.	都道府県名	許可番号	許可年月日 許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物のふん尿	動物の死体	13号廃棄物
1	埼玉県	01103010377	R1.9.4 R6.8.7.	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
2	東京都	13-00-010377	R1.9.12 R6.9.11		●	●			●	●	●	●			●	●	●	●				

産業廃棄物処分業許可一覧表																						
No.	都道府県名	許可番号	許可年月日 許可期限	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず等	鉱さい	がれき類	ばいじん	動物のフン尿	動物の死体	13号廃棄物
1	埼玉県	01120010377	R2.9.8 R7.7.19						●						●	●	●					

● 廃棄物再生事業者 埼玉県 登録第III-3号

● 古物商 埼玉県公安委員会 第431150000434号

● 金属くず商 埼玉県公安委員会 第115-31号

● エコアクション21認証登録の範囲

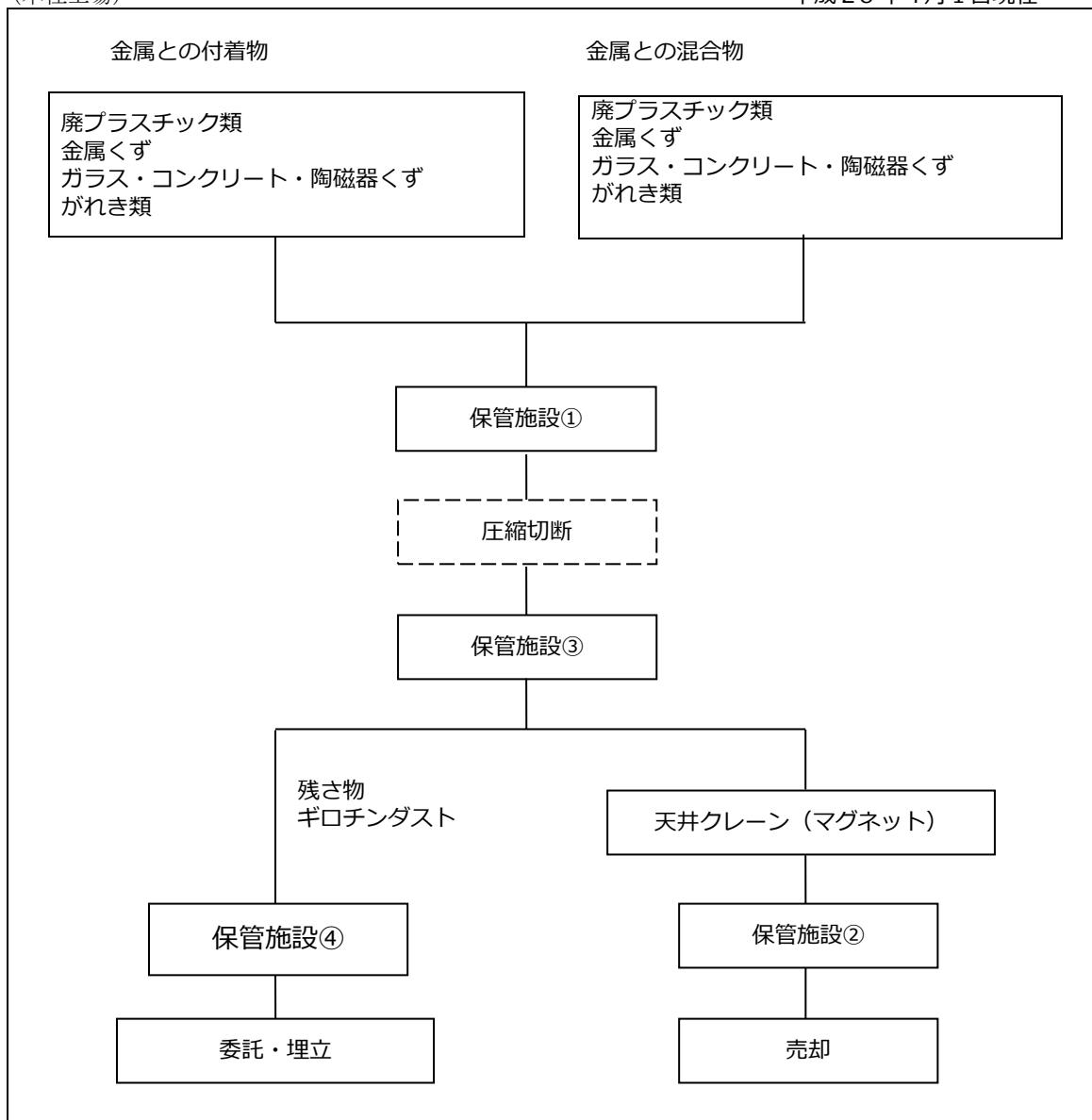
・全組織・全活動を認証登録の範囲とする。

・登録組織名：秩父回収資源株式会社 本社工場、電線リサイクル工場、駐車場

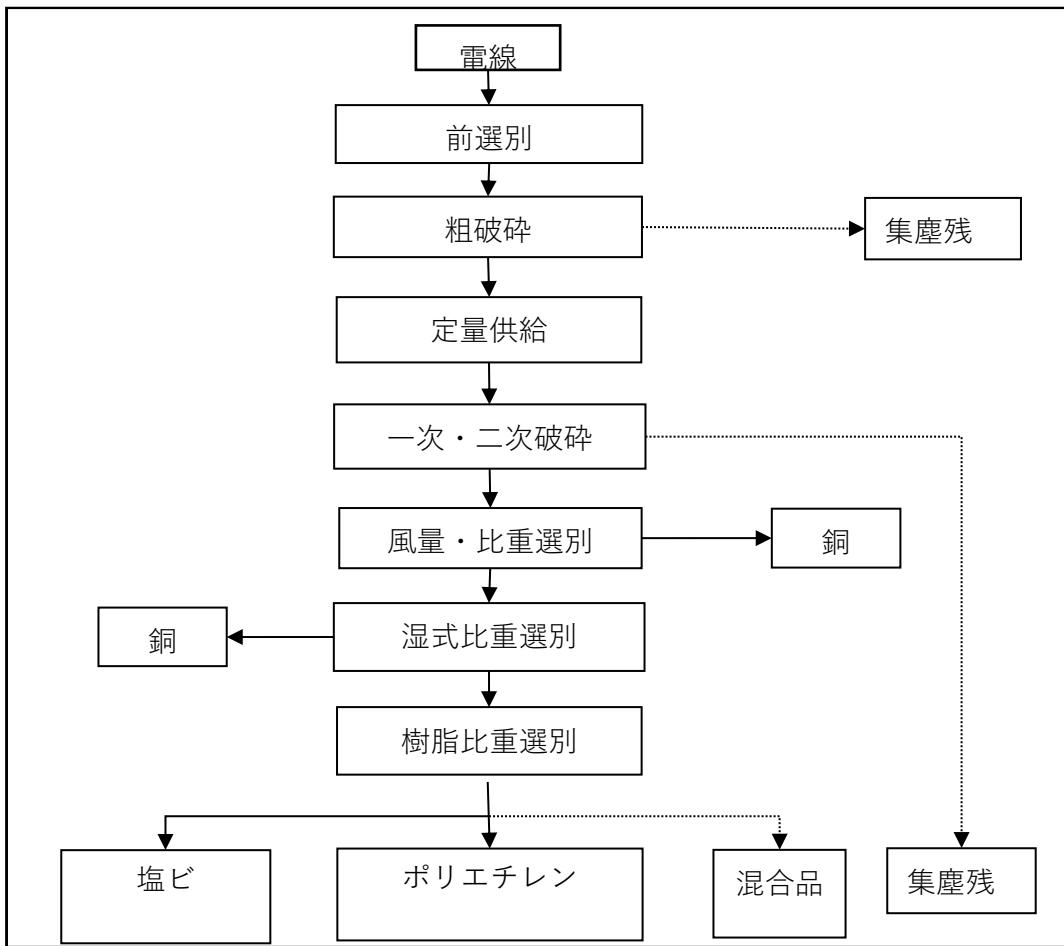
- 運搬車両：脱着装置付コンテナ専用車 2台
キャブオーバー 7台
ダンプ 1台
- 処理施設の種類
 - ・圧縮せん断施設 2基
 - ・処理する産業廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
 - ・処理能力：廃プラスチック類 89.76 t／日
金属くず 236.64 t／日
ガラス・コンクリート陶磁器くず 481.44 t／日
がれき類 1468.80 t／日

● 処理フロー図
(本社工場)

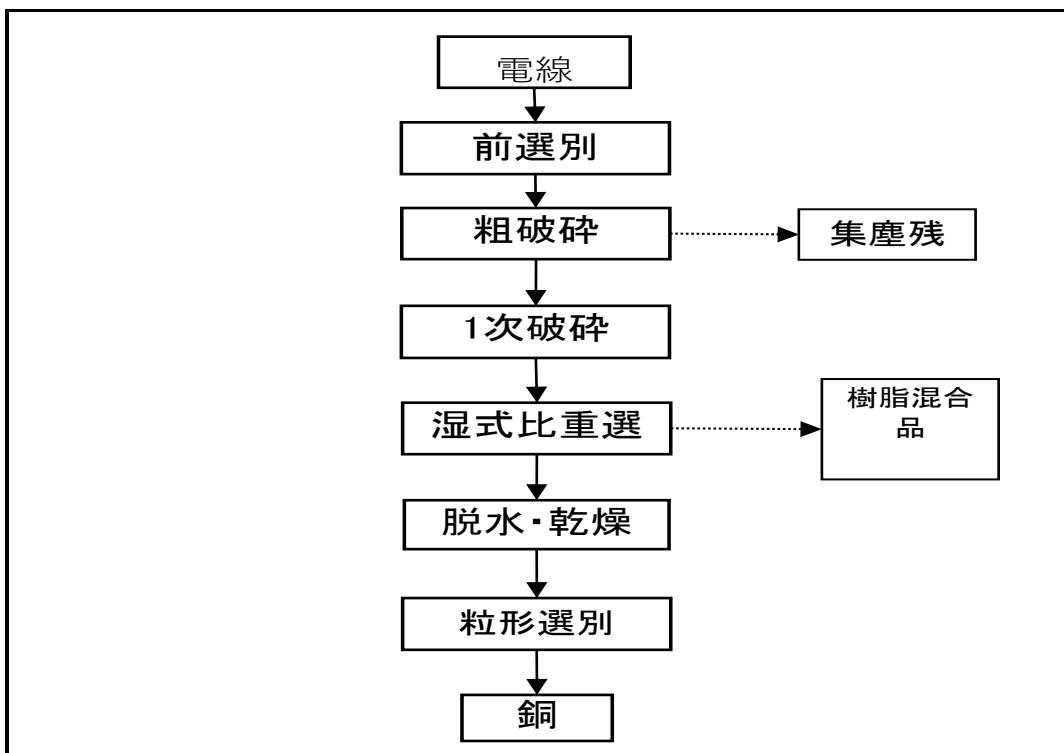
平成28年4月1日現在



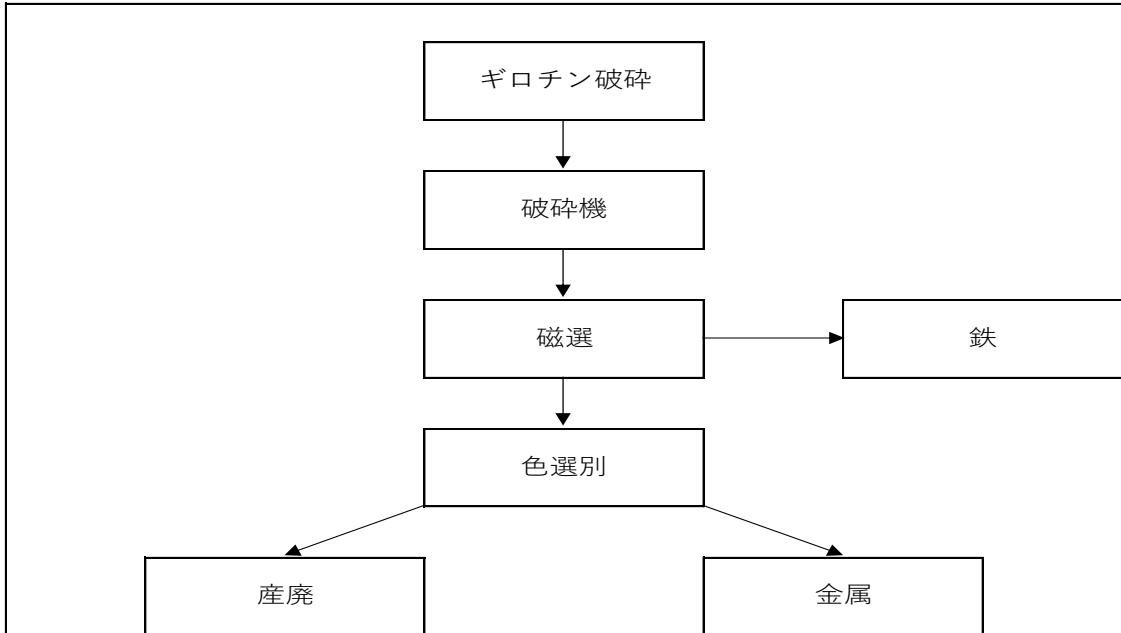
(大済工場) 電線破碎選別機



(大済工場) 電線破碎選別機（湿式）



(大湊工場) 破碎選別設備



● 産業廃棄物収集運搬業実績、処理実績（2022.09～2023.08）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬量	金属		59.98	
	廃プラ		1.89	
	ガラ陶		8.95	
	混合（金属・廃プラ・ガラ陶）		17.72	
収集運搬量合計			88.54	
(ii) 中間処理	金属	圧縮・切断	85.69	
	廃プラ	〃	4.75	
	ガラ陶	〃	9.29	
	混合（金属・廃プラ・ガラ陶）	〃	26.75	
うち 再資源化等	金属		90.94	
	再資源化等量小計		90.94	
中間処理合計			126.48	
(iii) 最終処分				
(iv) 中間処理後 の産業廃棄物	最終処分	廃プラ	管理型最終処分場(委託)	13.47
		ガラ陶	〃	2.7
		混合	〃	12.78
		混合（金属・廃プラ・ガラ陶）	〃	6.59
	小計		35.54	
	再資源化等			
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計			35.54	

● 環境経営目標

年度 項目	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	
		今期目標値	目標値	目標値	
		99%	98%	97%	
電力のCO2 総排出量	kg-CO2	151,806.1	150,288	148,770	147,252
自動車燃料のCO2 総排出量	kg-CO2	160,116	158,515	156,914	155,313
CO2総排出量 合計kg-CO2	kg-CO2	313,076	309,945	306,814	303,683
産業廃棄物の削減	kg	209,950	207,851	205,751	203,652
節水	m³	418.5	414.3	410.1	405.9

● 環境経営計画

電気…二酸化炭素の排出抑制（電力使用量の削減、ガリソン、軽油）

空調温度の適正化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）

空調の保守点検、必要な区域、時間に設定

照明の適正化、昼明の利用、スイッチの適正管理

休憩時間の施設電源の停止

燃料…アイドリングストップ

車輛、重機から離れるときのエンジン停止

重機の吹かしこみの禁止

急発進、急加速の禁止

産業廃棄物の削減

…事前選別の徹底

破碎選別設備の導入

水使用量の削減

…節水

□環境経営目標及びその実績

年度 項目		2021年	2022年度		評価	
		基準年度	目標値	今期実績		
			基準年度比 99%			
電力のCO2 総排出量	kg-CO2	151,806	150,288	138,652.7 92%	○	
自動車燃料のCO2 総排出量	kg-CO2	160,116	158,515	156,549.3 99%	○	
CO2総排出量 合計kg-CO2	kg-CO2	313,076	309,945	296,569.4 96%	○	
産業廃棄物の削減	kg	209,950	207,851	206,380 99%	○	
節水	m ³	418.5	414.3	407.5 98%	○	

※購入電力の排出係数 0.451 (2021年度の調整後排出係数を使用)

- 2022年度総二酸化炭素排出量…296,569.4kg-CO2
- 2022年度産業廃棄物総排出量…206,380kg
- 2022年度産業廃棄物中間処理量 126.48 t

● 環境経営計画の取組み結果の評価並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

4項目ともに目標の達成ができたが、荷物量が減少していることも理由のひとつである。次年度も2021年度を基準年に、随時結果を確認しながら環境に配慮した活動を徹底したい。

- 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。
また、環境関連の違反、訴訟等は過去5年間ありませんでした。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	運搬基準（車両への表示明示、許可書等の備え付け） 処理基準、監視・測定（許可書、マニフェスト、帳簿） 届出・報告（実績報告書、管理票交付等報告書）	○
埼玉県生活環境保全条例	アイドリングストップ	○
騒音規制法	特定施設の届出、地域別騒音基準の順守	○
九都県市条例	対象車両に減少装置の設置	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正綱処理、回収・破壊の工程の確認、 室外機の定期点検実施	○
家電リサイクル法	リサイクル券の購入	○
浄化槽法	11条検査 1回／年、清掃 1回／年、点検 4回／年	○

◆ 代表者による全体の評価と見直し

今年度は、前回の基準年度(2020)が新しい機械の不具合によるデータ不足から、基準年を見直し、安定稼働していた(2021)年度に変更し活動した。
電気・燃料・産廃・水使用量ともに目標を達成することができたが、荷物量の減少による仕事量の低下も理由があるので、引き続き節電、工コ運転、リサイクル率の向上による産廃削減、節水など環境に配慮した作業を徹底すること。